

「confa」はConsumer(消費者=道民)とFarmer(農業者)のConsensus(合意)から名付けたもので、「消費者と農業者がもっとふれあえるように」「都市と農村をつなぐ架け橋になりたい」の想いを込めています。

CONTENTS

特集 夢をかなえる北海道農業

1p ①Uターン後継
なかのふあ〜む(滝川市)

5p ②新規就農
森岡農園(八雲町)

7p enjoy 6次産業化
十勝野菜を超過熟 森田農園(帯広市)

8p 笑顔を広める酪農女子
鈴木瑠依さん(旭川市)

9p ふれあいファームへようこそ

11p コンファ農業教室

13p アオハル レシピ
真狩高校 La mikka(真狩村)

14p 北海道からのお知らせ

巻末 酪農家直営のアイスShop

電子ブック公開中!
Hokkaido ebooks

こちらのQRコードを
読み取ってください。



<http://www.hokkaido-ebooks.jp>

※スマートフォン、タブレットの方は専用アプリ(無料)をダウンロードの上、ご利用ください。

特集

夢をかなえる北海道農業



農業で自分たちの「ものづくりの夢」を伝えたい。

「なぜ農業を?」その問いには、さまざまな答えが返ってきます。「代々、農家だったから」「みんなが喜んで食べてくれるから」「北海道の風景に憧れて」「家族一緒の時間が長いから」…etc
それぞれの想いがたくさん詰まった北海道農業には、夢をかなえる不思議な魅力があります。

洋服づくりから野菜づくりへ

祖父母の代から滝川で農業を営み、現在は、稲作を中心に小麦やなたね、多品種野菜の栽培を行う「なかのふあ〜む」。3代目の恵介さんは、笑顔が爽やかな長身のオシャレな青年です。

それもそのはず。小さな頃から「ものづくり」が好きで、札幌の服飾専門学校を経て、東京でオートクチュールの服飾デザイナーとして、自らのアトリ工を構えて製作をしていました。顧客に恵まれ、大

好きな服飾のデザインや縫製の仕事に昼夜を問わず没頭し、ファッションの世界に打ち込んでいました。充実した日々を過ごすなかで、30歳を過ぎた頃にふと、「これから先、どのように暮らしていきたいだろう」と自問自答。「東京で忙しく過ごすことも楽しいけれど、もっと人間らしく暮らすことも…」と、時間の流れ方も空気が異なる故郷の滝川が思い浮かんだそうです。

遠く離れて気付いた滝川の豊かさ

生まれ育った土地を離れて暮らしてみて、豊かな自然に囲まれた滝川の魅力に改めて気づいた恵介さん。服飾の仕事は「十分にやりきった」と気持ち切り替え、岡山県出身でニットデザイナーをしていた奥さんの恵美さんと一緒に、両親の営む農業を継ぐため、2014年に滝川へUターンしてきました。



帰郷後は両親の勧めもあり、滝川市が農業の担い手向けに開催している「滝川農業塾」に2人揃って入り、農業という新たな分野の知識やノウハウを学び、後継者となるための準備をしました。

